

～編むかたち、織るころ～
中国竹草工芸展

日中友好会館美術館
2011年8月1日(月)～8月17日(水)

日中友好会館美術館は、中国の民間伝統工芸である竹細工と草細工の展覧会「編むかたち、織るころ～中国竹草工芸展」を開催いたします。

ポイント

- ◎涼しげな竹・草細工が、今年の暑い夏に清涼なひとときを与えます！！
- ◎カゴ、ざる、ぞうりなどの立体的な作品のほかに、日本では珍しい、中国の伝統的平面編みと磁器素地竹編みを展示します。
- ◎鑑賞品から日用品まであらゆる竹工芸・草工芸作品約75点を展示します。

展示品紹介（一部） ※画像データをご希望の方はお申し付け下さい。



平面作品「蘭亭序」(竹編み)



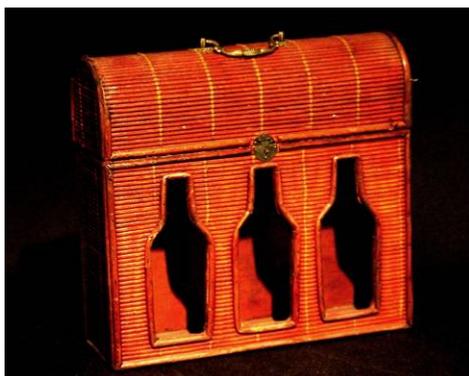
子背負い籠(竹編み)



くつ(草編み)



磁器素地竹編み
(竹編み)



酒入れ(竹編み)



物入れ
(竹編み)



蓋付箱(竹編み)



鷹(草編み)

【開催趣旨】

中国において竹の堅牢さは品格、草のしなやかさは情感の象徴とされています。

中国で竹・草編み工芸品が日常的に愛用されるのは、その利便性や価格からだけでなく、中国で尊重される「天人合一」思想、すなわち「人・天・地・自然の調和」という理念が具体的に体现されたものと考えられているからです。

その歴史は長く、新石器時代（紀元前 6000 年前～）にはすでに発生していました。その後、数千年の発展を経て、今では高い鑑賞性をもつ民間伝統工芸となっています。

本展では、鑑賞用から実用まで幅広い分野から、立体編み・平面編み・磁器素地編みなどの様々な編み方を駆使した作品 約 75 点を展示いたします。

現代でも中国の人々の暮らしに密接な竹・草工芸品の質朴な美、技巧をご紹介します。

【開催概要】

展覧会名：「編むかたち、織るころ～中国竹草工芸展」

会 期：2011 年 8 月 1 日（月）～8 月 17 日（水）／ 休館日：土・日

開館時間：11:00～17:00 ／ 入場無料

会 場：日中友好会館美術館 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3

主 催：財団法人日中友好会館、中華人民共和国文化部对外文化聯絡局

後 援：中国駐日大使館、(社)日中友好協会、日本中国文化交流協会、(社)日中協会、
日本民藝協会

展示内容：中国の竹・草編み工芸品 約 75 点を展示（竹工芸品 43 点・草工芸 32 点、出展：中国文化部）。中国の人々の暮らしに密接な竹・草工芸の様々な用途、芸術、歴史に迫る。

※図録販売無し

ホームページ：http://www.jcfc.or.jp/index.html

アクセス：・都営大江戸線・飯田橋 C3 出口より徒歩 1 分

・ J R 総武線飯田橋駅東口より徒歩 7 分

・ 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線飯田橋駅 A1 出口より徒歩 7 分

・ 丸の内線後楽園駅より徒歩 10 分

問い合わせ：財団法人 日中友好会館 文化事業部 担当：小林、甘（カン）

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3

TEL：03-3815-5085／FAX：03-3811-5263

e-mail：bunka@jcfc.or.jp

以 上